



WINTER

2000

NO.128

KOSMOS

TOYO UNIVERSITY LIBRARY INFORMATION BULLETIN

<http://www.toyo.ac.jp/libra/>

CONTENTS

板倉図書館—21世紀に向けて	1
特集—2000年、本来の図書館 のあり方を目指して	2
図書館新システム導入／蔵書紹介	6
年間企画「キャンパスめぐり」 —第3回 工学部分館—	7
お知らせ	8

<板倉図書館> 21世紀に向けて



国際地域学部長 赤塚 雄三

私が斯くあって欲しいと願う板倉図書館について考えてみたい。教室の講義で新しい知見に触れ、刺激された知的好奇心を満たす場としての図書館である。学生が自らの手で検索を重ねて目指す図書を見出し、手に取って読む喜びを与えるような図書館である。

国際地域学部では、3年生まではどの学年にも必修科目として演習が設けられ、そこでは自主的な学習が求められる。4年生になると、こうした学習成果をベースにして卒業研究に臨む事になる。3年間の講義や演習を通して蓄積した知見の領域を越えて、自らの力で新たな知見を見出すのが課題である。2000年は、一期生が卒業研究に着手する年であるが、板倉図書館は学生諸君のニーズに十分に答え得るであろうか。残念ながら、私は蔵書の量と領域と言った視点から悲観的にならざるを得ない。

学生一人当たりの蔵書数(定期刊行物の学協会誌や雑誌を除く)をキャンパス毎に比較すると、白山:47冊、朝霞:31冊、川越:31冊、板倉:21冊、全学平均:39冊と言った数字が浮かび上がって来る。キャンパス間の図書の流通は制約されないの、建前上は、他図書館の蔵書も自由に利用できる。しかし、本学では主要な教育研究分野がキャンパス毎に異なり、これが各図書館の選書方針にも反映されている。結果として、検索を重ねても必要な図書を他の図書館で見出す可能性は乏しい。板倉図書館の蔵書不足を補うべく、演習指導では周辺都市公立図書館の蔵書状況を調査した上で、その利用も奨めているが、交通の便の悪さ等が大きな障害となっている。

キャンパス設立に当たっては基礎的図書や専門領域図書を中心に整備し、開設後は基礎学年学生を対象とした一般教養並びに基礎的な専門図書を重点的に選書して来た。しかし、学年進行に応じて必要な図書も増加する一方で、従来の図書予算では追随出来ないのが実態である。そこで、2000年以降は、板倉キャンパスの教育研究領域に特化して拡大選書する事を提案したい。21世紀初頭に開設予定の大学院(国際地域学専攻、生命科学専攻)や国際観光学科の教育研究にも対応し得る図書整備も緊急の課題と思われる。

(国際地域学部長 あかつか ゆうぞう)

特集 2000年、本来の図書館のあり方を目指して

最近、投書箱に図書館のマナーに関する投書が多く寄せられます。これらの内容と、海外の図書館事情を参考にしながら、図書館のあるべき姿を模索しました。ミレニアムという節目でもあり、より良い図書館を作っていきたいものです。

投書1…私語

東洋大学図書館における私語の多さの原因

1. 職員が注意する回数が極端に少ないこと。
2. グループ学習室が予約なしに利用できないこと。

第1点については、会話する必要があるのなら学食や研究室、ラウンジ等を利用するようにさせて下さい。即ち〈外へ出るように〉促して下さい。外へ出ないならば〈会話の音量を下げる〉のではなく、〈沈黙〉すべきであることをはっきり注意して下さい。継続的な会話を前提として複数で図書館を利用する人が少ないのです。

第2点については、コミュニケーションコーナーのコンセプトを反映させる本来の場所であるのが、グループ学習室だと思います。この設備の利用状況を調査し、予約なしで利用できるものにして下さい。あるいは、予約のある時間以外は自由に使えるようにして下さい。しかし、予約利用は、空き教室に代替できるものですから、基本的にはすべて自由利用にすべきだと思います。

投書2…マナー

図書館を利用する人のマナーが悪いという意見をよく聞きますが、利用している一員として恥ずかしいと思うし（身に覚えは無いが）、また、利用する側も、うるさくさせない雰囲気作りをする必要があると思う。注意されないと静かにできないなんて大学生として恥ずかしいのではないのでしょうか。

ただ、私の地元の図書館はオニのような司書の先生がいて、いつも恐いほど静かだった。そういう例もあるので、やはり「これはヒドイ」という場合には注意して下さい。

投書3…おしゃべり・携帯電話

おしゃべりをするために図書館に入っているような人には退出するように言って下さい。携帯電話の呼び出し音をさせたり、おしゃべりをしている人に退出するように指導すべきだと思います。とにかく私語の問題は放置しないで下さい。

投書4…飲食

最近、飲食をする人が多く目に付きます（特に飲み物）。以前、私で使用しようとした机が飲み物で汚れていて、とても嫌な思いをしました。見回り等を通じて指導をお願いします。

投書5…コピー機独り占め

久しぶりに図書館を利用しました。仕事で2、3枚書籍をコピーしようとしたのですが、学生(?)がすべてコピー機を占領。しかも何百枚もコピーしています。大量にコピーする人と、10枚以内の人とで、コピー機の利用を分けても良いと思います。

結局、一度貸出手続きをして、外の文房具屋でコピーし、本を返すという手間をかけてしまいました。

投書6…ゴミ

図書館の机の上に、ゴミを置くな！机の上は、ゴミ置場ではありません。何とかきちんとした対策をして欲しいです。

投書に対して

ここに掲載した投書はすべて白山キャンパスの図書館に寄せられたものです。比較的マナーが良いキャンパスもあると思いますが、できるだけ共通の事例を取り上げました。

これらの投書の内容を要約すれば、マナーが悪いことに対して図書館が対策を講じて欲しい、特に見回りをし、注意をして欲しいということです。

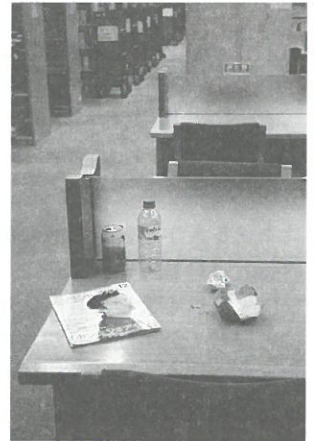
図書館としては最大限の見回りを行っているのです。しかし、最近の傾向として、マナーが悪いことを注意しても何を言われたかわからない人が多いのです（このことは、経営学部長が「校友会報」201号にお書きになっています）。また、注意をしてもすぐにもとの状態に戻ってしまうのです。

図書館としてはやはり見回りをし、注意をし、目に余る場合は退館してもらうように努力を続けたいと思います。

利用者の皆様も、マナーが悪い人を見かけたらカウンターまでお知らせ下さい。

図書館の中の設備や備品は、図書や雑誌などを利用することを目的としています。グループ学習室やコピー機もそのひとつですから、空き教室代わりにしたり、ノートのコピーは禁止しています。

また、盗難などに注意し、自分の持物は自身で万全の管理をしようお願いします。



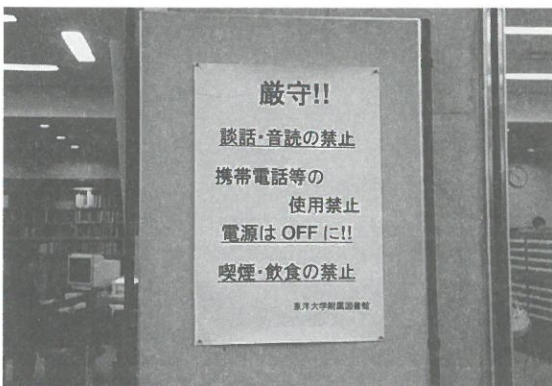
あるべき図書館の姿とは

図書館は公共の場です。そのことをまず自覚して欲しいと思います。公共の場には当然守るべきモラルがあります。

白山図書館は明治33年に建設され、最初の図書館から現在の図書館まで伝統と歴史が脈々と息づいています。また、図書館は教育・研究機関として大学の中核の機関です。単に公共の場というだけでなく、このような学問的土壌から培われた利用のモラルもあるということです。

図書館は、今、東洋大学が誇れる近代的な設備のひとつです。オープンキャンパスなどでも図書館は必ず見学コースに入っており、見学者は図書館の設備に感嘆の声を上げます。この図書館で是非勉強したいと思う方々もいると思います。その人たちの夢を壊すことの無い、充実した図書館でありたいものです。

より良い図書館を作るには、図書館側だけではできません。利用者の自覚と協力が必要だと思います。2000年を機に、大学にふさわしい図書館づくりの一步を踏み出していきたいと考えています。利用者のご協力をお願いいたします。



ドイツの図書館ではみな真面目に勉強する。 なぜか？

柴田 隆行

キール大学図書館の閲覧室は、他大学のそれと比べると狭い。それでもあまり不便を感じないのは、学生も教員も大学の近くに住んでいて、本は自宅に持ち帰って読めばよいからだ。また、各ゼミナール毎に朝霞分館と同規模の図書室があるからでもある。だから、本館の閲覧室にいつも陣取っているのは留学生が多い。彼らは（僕も含めて？）じつによく勉強する。水筒持参で文字通り朝から晩まで勉強している。たまに誰かが早く着き、光の具合が良さそうだと思って好きな席についたりすると、常連客(?)がすぐ隣に座ってそれとなく「そこは私の指定席ですよ」と意志表示する。

チュービンゲン大学の図書館では、開館直後に入館しても閲覧室の机の上にすでに本が積まれている。とてつもなく早く来るやつがいるなあと思っていると、どうやらそうではなく、借り出した図書を閲覧室の机の上に積んだまま帰宅するらしい。大学もそれを容認している。そんなわけで、ここではキール大学でのような「沈黙の争い」がない。

どこの大学図書館でも、1820年以前の図書はコピー禁止である。もちろん閲覧は自由だから、借り出して閲覧室で読むことになる。ところで、閲覧室のいづこかに必ずコピー室があって、コピー禁止本をそっと小脇に抱えてコピーをとることもじつは可能なのだ。だがそれができそうでいてできない。なぜなら図書館員が僕ら利用者を信頼しているからだ。駅には改札がないし、バスは後部ドアから自由に乗り降りできるから、その気になれば無賃乗車が可能だ。レストランでは食事をしたあと代金を払うために給仕が来るのをじっと待つしかない。そういうお国柄なのだ。まあ、神さまはすべてお見通しなのだ。

ベルリンのポツダム広場にあるベルリン州立図書館の閲覧室はじつに広い。その机がしかし開館1時

間後にはほぼ埋まってしまう。それぐらい利用率が高い。利用者の大半が大学生だ。もちろん学者や一般市民もいる。中国や朝鮮、日本からの留学生もいる。机を確保できなかったひとたちは休憩所のソファで本を読んでいる。ホールのソファに座って図面を写し取っているアラビア人学生の姿を見たこともある。机を確保できたひとたちは、本を積んでレポートや論文の執筆に勤しんでいる。館内食堂でコーヒーを飲みつつ激論を闘わしている学生もいる。みんな真面目で生き生きしている。なぜこんなにみんな真面目で真剣なのだろうか。その理由は、みんなが真面目で真剣だからだろう。つまり、雰囲気にもまれるからだ。もう一つ理由がある。それは、大学図書館でも州立図書館でも、ドイツの図書館員はみんなこわいからだ。

(文学部教養課程教授 しばた たかゆき)



チュービンゲン大学図書館

TPOをわきまえて、 自分の行動をチェックしましょう

黄 玲

最近、白山キャンパス図書館の意見コーナーに目を通した。そこには、図書館の利用マナーに関する意見がたくさん寄せられていた。特にマナー違反に対する非難が目立っていた。「学食ではない、大声で話したり、笑ったりしている人達はもう少し常識をわきまえてほしい」というような内容であった。その中で一つ、他大学の学生の意見が私の胸を刺した。その内容は、次のようであった。

「館内のマナーの悪さに驚いた。話し声、携帯電話のベル、靴の音…。図書館を見るとその大学の学生の知的レベルが知られる」。この内容からは、怒りの大きさが想像できる。

確かに本学の図書館で、高い声で喋ったり、笑ったりしている学生をよく目にする。時々視線で牽制しようとしても、まったく無視されてしまう。もはや東洋大学の図書館ではじっくりと思考することが不可能なのだろうか。

私が通った中国の図書館は、静かで論文作成に適切な場所であった。同じ大学図書館であるのに、なぜ違うのか。これについて、2、3人の中国の知人に聞いてみた。皆、「それは意識が違うからではないか」と言った。つまり、中国人の意識には、図書館は参考図書を利用しながら勉強する場所で、勉強しないものは図書館に来るなどという意識が強い。日本の場合、図書館の数が多く、そうした意識が薄くなり、一部の人々は図書館を待ち合わせ場所、時に談話室と思っているのではないかと語っていた。

しかしそれは、図書館におけるマナー違反の言い訳にはならない。なぜなら、大学図書館を利用する人達は教育レベルが高いはずであるから、そのくらいの常識をわきまえているはずである。私に一言で言わせれば、その原因は無神経によるものである。

無神経は図書館に限ったことではない。授業中の

飲食や携帯電話での会話などもその例である。これらの無神経な行為は自分自身、あるいは自分に係わるものに対するイメージを損なわせている。上記の他大学生の意見はまさにその一例であろう。

意見コーナーにはマナー違反に対する対策もたくさん寄せられていた。その中に、「図書館職員は鬼になって、飲食、私語、携帯電話の使用を禁じ、違反者は外に出すべきである」という意見があった。果たして、大学生を相手に、図書館職員は鬼になれるだろうか。

図書館職員に注意される前に、また、常識をわきまえない東洋大生と言われないよう、TPOを考えて自分の行動をチェックすべきではないか。

中国の図書館の利用者に示す掲示から

図書館利用須知
請保持館内安靜
進入館内請關掉手機
請保持館内整潔
不要在館内吸煙飲食
愛護圖書資料
自覺遵守圖書借閱制度

(経済学研究科博士後期課程 コウ リン)

— 図書館新システム導入 —

ご期待
下さい!

4月から「OPAC」が新しくなります。 ……ふたつがひとつに

“ふたつがひとつに”——これがこの4月から登場する「新OPAC」（オンライン目録検索）の特徴です。今までの「OPAC」はふたつに分かれていました。タイトル、著者名等、キーとなる文字を決まった場所に入れば良かった画面誘導型。ただこれは逆に言うと、決まった方法でしか調べようが無いということです。一方、調べる方法は豊富だけど、どういう検索をしろと指示まで利用者自身が打ち込まなくてはいけなかったコマンド型。一長一短あるふたつの良い所をひとつにしたのです。

画面誘導型の良いところ、それは“わかりやすさ”。「新OPAC」でも、タイトル、著者名等の検索キーを入れる場所は決まっています。コマンド型の良いところ、それは“絞り込み”。従来の画面誘導型では所蔵館や分野別で調査することができませんでした。「新OPAC」では所蔵館や探したい資料の分野（※）をマウスのクリックで画面に表示してくれます。

そう、画面もWindowsイメージでマウスが使えるのです。「旧OPAC」の何が使いにくいとって“マウスが無い”、これには泣かされました。“マウスがあればカット・アンド・ペースト（切り貼り）ですむのに”という場面は何度もありました。

叢書名や著者名のリンクでの検索が可能です。要するに“芋づる式”です。Aという著者が書いた資料を表示して、共著者のBが書いた資料も知りたくなった。こんな場合、今までは画面を戻してBでやり直しました。「新OPAC」ではBをクリックすればBが著者名としてデータに入っている資料全部がその場で表示できます。

この他にインターネット経由で館外・学外からの検索も可能です。4月からの稼働を楽しみにして下さい。

※「新OPAC」では資料の分類が100種類表示可能になっています。

— 蔵書紹介 —

坂口安吾コレクションの 展示が開催されました

東洋大学図書館（白山）展示コーナーで井上円了記念学術センター〔シンポジウム「坂口安吾の現在—そのリアルな問題をめぐって」〕と協賛で10月28日～11月2日まで展示会が開催されました。

坂口安吾は、昭和元（1926）年4月、東洋大学大学部の印度哲学倫理学科に入学しました。20歳でした。そして、卒業後作家への道を

坂口安吾コレクション一覧（展示会目録から引用）

書名	出版社	出版年	備考
自筆原稿「世に出るまで」			昭和30年4月『小説新潮』第9巻第5号の「エッセイ」欄に掲載。
黒谷村	竹村書店	昭和10	処女単行本。私家版に近くて500部ほどしか刊行しておらず、かつ横光利一あての署名のあるもの。
吹雪物語	竹村書店	昭和13	改訂版「再版に際して」の再録がある。
炉辺夜話集	スタイル社	昭和16	安吾の著作の中で最も入手が困難で、発行当時についていた薄紙のカバー付のもの
真珠	大観社	昭和18	第三創作集 時局にそわず、再版を禁じられる。
いつこへ	真光社	昭和22	
白痴	中央公論	昭和22	被爆の破壊下に精神と肉体の無垢を描いた。
墮落論	銀座出版	昭和22	墮落による人間復活をといて一世を風靡した。
外套と青空	地平社	昭和22	

年間企画

キャンパス

めぐり

—第3回 工学部分館—

—沿革

工学部分館は、1961年5月に「工学部分室」として2教室で開室、1966年初代館長平野耿教授（教養課程）が就任、現在15代館長矢野昌雄教授（電気電子工学科）に至っております。1970年には図書館として新築、以来29年が経過、この間数回の増改築を経て、延べ面積1,471㎡、蔵書数145,000冊、雑誌2,800タイトル、視聴覚資料4,200点になりました。

—環境

東武東上線鶴ヶ島駅で下車して池袋方向に歩くこと10数分、新西門を通して緑が美しい木立の“こもれびの道”を抜けると、視界が開け「四聖像」をいただく2階建の小さな建物が工学部分館です。自然に恵まれ、春は桜、新緑、秋は紅葉と日々変化して目の保養に、栗や銀杏の実は近隣住民も拾いに来るほどです。

—運営と利用

特徴として、数多くの理工系最新版の和洋雑誌を始め、発展を続ける日本の技術、研究開発の基礎となる資料が多くあります。卒論や研究課題に必要な雑誌や論文の検索にはシステムを利用して探すことができます。試験期には開館時間の延長と日曜開館を行っています。

開館時間前から図書館の前で待っている人や、閉館時

間ぎりぎりまで熱心に学習・研究する姿勢が見られます。貸出枠いっぱい借りていく人が多く、分厚い資料を抱えて帰っていく姿に将来の日本の先端技術を担っていくという夢を託します。図書館を窓口として、インターネットで世界の情報をも得ることができますので、大いに活用して学習・研究の成果をあげて欲しいものです。

視聴覚資料としては、ビデオ・CD・LD・テープ等、学術・教育関係から気軽に楽しめるもの等の収集と充実をはかっています。

軽読書コーナーには、気軽に読める本としてベストセラー的なもの等があり、よく利用されています。

当館で所蔵していない図書資料は希望があれば随時受け付けていますので、気軽にリクエストして下さい。皆様のご要望に応えられるよう努めます。スタッフ丁寧に対応して、知りたい情報を提供いたします。あなたの大学生活をより充実したものにするために、お手伝いすることを惜しみませんので、いつでも工学部分館をご利用下さい。



たり始めました。安吾の足跡のひとつが、当時学生によって発行されていた『東洋大学新聞』に「山麓」「天才になりそこなった男の話」という作品で残されています。

ここでは、図書館（白山）に所蔵されている坂口安吾の著作を一部紹介します。



青鬼の禪を洗う女	山根書店	昭和22	数少ない安吾の署名本
坂口安吾選集全9巻	銀座出版社	昭和23	全巻に署名が入っているもの。
風 博士	山河書院	昭和23	文壇に認められるきっかけとなった作品。
教祖の文学	草野書店	昭和23	
ジロリの女	秋田書店	昭和23	
不良少年とキリスト	新潮社	昭和24	情死した太宰治にこの作品を書いて報いた。
不連続殺人事件	岩谷書店	昭和24	非常に少ない帯付きのもの。
現代忍術伝	講談社	昭和25	
勝負師	作品社	昭和25	安吾が手元に置き自分の所蔵本として大切に、持ち出し禁止の旨が自筆で記入されているもの。
投手殺人事件	東方社	昭和30	

お知らせ

● 図書館情報システムの更新について

現行の図書館情報システムは、平成12年4月にリニューアルいたします。利用者へのサービスの目玉は次のとおりです。

- ① 図書館以外の場所からでも、図書館ホームページを介して所蔵検索ができるようになる。
 - ② OPAC（所蔵検索）の操作がわかりやすくなる。
 - ③ OPAC機の台数が増える。
 - ④ 図書の所在がマップで表示されるので、検索した資料のありかがわかりやすくなる。
- その他のサービスとして、OPACから今、自分が何冊借りているかなどの貸出状況の照会も自分で行えるようにするといったことを検討しています。

● 1～3月の開館日・開館時間について

各館で配布しているライブラリーカレンダーやホームページで十分確認、注意して下さい。

入学試験実施に伴う閉館の他、図書館情報システムの更新準備等により、臨時に閉館する場合があります。

*開館時間も日によって異なることもあります。

白山…1月は通常どおり。2～3月はライブラリーカレンダー、ホームページを参照して下さい。

朝霞…1月 (月)～(金) 9:00～19:00 (土) 9:00～16:00
2～3月 (月)～(金) 9:00～17:00 (土) 9:00～13:00
(個人視聴室は9:30～閉館30分前まで)

工学部…【春季休暇中(2月9日(水)～4月5日(水))】
(月)～(金) 9:00～17:00 (土) 9:00～13:00

*開館時間の変更については、掲示を見て下さい。

板倉…ライブラリーカレンダー、ホームページを参照して下さい。

● 開館時間延長・休日開館について(学年末試験対応のため)

【開館時間延長】

工学部…1月11日(火)～2月7日(月)
(月)～(金) 9:00～19:00 (土) 9:00～17:00

板倉…1月17日(月)～2月4日(金)
(月)～(金) 9:00～19:00 (土) 通常どおり

【休日開館】

白山…1月16日(日)・23日(日)・30日(日)
10:00～18:00

朝霞…1月16日(日)・23日(日)
10:00～18:00(個人視聴室は10:30～17:30)

工学部…1月23日(日)・30日(日)・2月6日(日)
10:00～16:00

● 平成12年度入学試験実施に伴う閉館について

白山…2月7日(月)～16日(水)・26日(土)

朝霞…2月5日(土)～16日(水)

工学部…1月14日(金)・15日(土)・2月2日(水)

● 冬休み貸出の返却期限について

期限は厳守しましょう。

白山・朝霞 1月13日(木) 工学部 1月11日(火)

板倉 1月12日(水)

● 春季長期貸出について

白山

図書(含む軽読書)5冊・視聴覚資料5点(雑誌は通常貸出)

〔受付期間〕 1月27日(木)～3月29日(水)

〔返却期限〕 卒業・修了予定者 3月21日(火)

上記以外の方 4月13日(木)

朝霞

図書5冊・視聴覚資料5点(雑誌は通常貸出)

〔受付期間〕 1月24日(月)～3月28日(火)

〔返却期限〕 4月12日(水)

*ただし、卒業・修了予定者は次のとおり

〔受付期間〕 1月24日(月)～2月21日(月)

〔返却期限〕 3月21日(火)

工学部

図書、雑誌で5冊・視聴覚資料2点(雑誌・視聴覚資料は通常貸出)

〔受付期間〕 1月28日(金)～3月17日(金)

〔返却期限〕 卒業・修了予定者 3月10日(金)

上記以外の方 4月10日(月)

板倉

全部で5冊(雑誌・視聴覚資料は通常貸出)

〔受付期間〕 1月28日(金)～3月27日(月)

〔返却期限〕 4月10日(月)

*休・閉館時に返却される場合には、「返却ポスト」を利用して下さい。(雑誌と視聴覚資料は除く)

● 返却ポストの取扱について(白山・朝霞・板倉)

最近、白山で「返却ポストが使用不可になって利用しづらくなった」という投書がありました。正しくは次のとおりですからご協力下さい。

・開館時間中はカウンターでの返却が基本です。利用できませんが、返却ポストは休館日を含め、閉館時間中は従来どおり利用できます。(ただし、原則として雑誌と視聴覚資料は除く)

訂正

127号に下記のとおり誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

P.7 蔵書紹介

出典：東洋大学所蔵資料目録 → 東洋大学所蔵資料図録

ΚΟΣΜΟΣ(コスモス)とは、宇宙または世界を意味するギリシャ語です。「ΚΟΣΜΟΣ」は「図書館ニュース」というタイトルで1966年6月1日に創刊号が発行され、1971年6月15日発行の通巻14号からタイトルを「ΚΟΣΜΟΣ」に変更して現在に至っています。